

9 保育福祉科 夜間主コース トワイライトクラス 2年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	英語コミュニケーション		2
	日本国憲法		2
	児童文学		2
	情報機器の操作	2	
保育士養成課程 必 修 科 目	相談援助	1	
	保育者論		2
	家庭支援論	2	
	保育内容演習・健康		1
	保育内容演習・人間関係		1
	保育内容演習・環境	1	
	保育内容演習・言葉	1	
	保育内容演習・表現	1	
	障害児保育		2
	保育相談支援		1
	保育実践演習		2
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	教育史		2
	保育臨床心理学	2	
	子どもの食と栄養実習		1
	児童文化		2
	保育あそび論		2
	絵画造形技法	1	
	保育表現技術・幼児体育Ⅱ		1
	保育表現技術・ピアノⅡ	1	
	保育表現技術・ピアノⅢ		1
	保育表現技術・声楽	1	
保育実習指導Ⅱ又はⅢ	1		
	キャリアデザイン	1	
	クラスルームⅡ	1	
実 習	保育実習Ⅰ－1		2
	保育実習Ⅰ－2		2
	保育実習Ⅱ又はⅢ		2
合 計 単 位 数		16	30
		46	

科 目	英語コミュニケーション	講 師	金藤 明美																														
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育現場において、子ども達の生活言語に合わせた英語表現を学び、訓練する。 ・英語の歌やチャンツ、絵本に慣れ親しむ。 ・子どもと楽しめる英語を使ったアクティビティを学ぶ。 ・簡単な挨拶と初対面で使う英語表現を学ぶ。 ・欧米のまつり（ハロウィン、クリスマス等）の歴史を学ぶ。 																																
授 業 の 画	<table border="0"> <tr> <td>1. 「コミュニケーションKeys」</td> <td>日常英語：ほめことば&活動 歌&チャンツ</td> </tr> <tr> <td>2. 「幼児教育現場と英語教育」</td> <td>日常英語：励ますことば 歌&チャンツ</td> </tr> <tr> <td>3. 「保育英語検定」</td> <td>初対面英会話1 絵本&活動</td> </tr> <tr> <td>4. 「日本の小学校英語活動の現状」</td> <td>日常英語：感情表現 歌&チャンツ</td> </tr> <tr> <td>5. 小TEST1「海外で活躍する人」</td> <td>初対面英会話2 手あそび</td> </tr> <tr> <td>6. 「子どものいる職場」</td> <td>日常英語：トイレ編 絵本&活動</td> </tr> <tr> <td>7. 「ハロウィン」</td> <td>初対面英会話3 歌&チャンツ</td> </tr> <tr> <td>8. 「日本語vs英語」</td> <td>日常英語：指示表現 絵本&活動</td> </tr> <tr> <td>9. 「マルチプルインテリジェンス」</td> <td>初対面英会話4 歌&チャンツ</td> </tr> <tr> <td>10. 「感謝祭」</td> <td>日常英語：食事編 絵本&活動</td> </tr> <tr> <td>11. 小TEST2「海外の保育」</td> <td>初対面英会話5 歌&チャンツ</td> </tr> <tr> <td>12. 絵本の読みきかせ大会&その活動</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13. 「クリスマス」試験の為のクイズ・練習</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14. 実技試験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15. 筆記試験</td> <td></td> </tr> </table>			1. 「コミュニケーションKeys」	日常英語：ほめことば&活動 歌&チャンツ	2. 「幼児教育現場と英語教育」	日常英語：励ますことば 歌&チャンツ	3. 「保育英語検定」	初対面英会話1 絵本&活動	4. 「日本の小学校英語活動の現状」	日常英語：感情表現 歌&チャンツ	5. 小TEST1「海外で活躍する人」	初対面英会話2 手あそび	6. 「子どものいる職場」	日常英語：トイレ編 絵本&活動	7. 「ハロウィン」	初対面英会話3 歌&チャンツ	8. 「日本語vs英語」	日常英語：指示表現 絵本&活動	9. 「マルチプルインテリジェンス」	初対面英会話4 歌&チャンツ	10. 「感謝祭」	日常英語：食事編 絵本&活動	11. 小TEST2「海外の保育」	初対面英会話5 歌&チャンツ	12. 絵本の読みきかせ大会&その活動		13. 「クリスマス」試験の為のクイズ・練習		14. 実技試験		15. 筆記試験	
1. 「コミュニケーションKeys」	日常英語：ほめことば&活動 歌&チャンツ																																
2. 「幼児教育現場と英語教育」	日常英語：励ますことば 歌&チャンツ																																
3. 「保育英語検定」	初対面英会話1 絵本&活動																																
4. 「日本の小学校英語活動の現状」	日常英語：感情表現 歌&チャンツ																																
5. 小TEST1「海外で活躍する人」	初対面英会話2 手あそび																																
6. 「子どものいる職場」	日常英語：トイレ編 絵本&活動																																
7. 「ハロウィン」	初対面英会話3 歌&チャンツ																																
8. 「日本語vs英語」	日常英語：指示表現 絵本&活動																																
9. 「マルチプルインテリジェンス」	初対面英会話4 歌&チャンツ																																
10. 「感謝祭」	日常英語：食事編 絵本&活動																																
11. 小TEST2「海外の保育」	初対面英会話5 歌&チャンツ																																
12. 絵本の読みきかせ大会&その活動																																	
13. 「クリスマス」試験の為のクイズ・練習																																	
14. 実技試験																																	
15. 筆記試験																																	
教科書 及び 参考書	教科書 ……『起きてから寝るまで子育て英語表現600』アルク 『Songs and chants 歌とチャンツのCD』MPI 参考書 ……特に指定なし																																
評 価 の 方 法	出席・小テスト・最終試験（実技&筆記）・発表																																

科 目	日本国憲法	講 師	中里 満理子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・最高法規としての憲法のなりたちを知る。 ・近代立憲主義の枠組みを理解する。 ・論理的記述力を養う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 憲法の構造 3. 立憲主義 4. 国民主権 5. 天皇制 6. 人権の種類と主体 7. 人権の限界と効力 8. 包括的基本権 9. 精神的自由 10. 経済的自由 11. 身体的自由と手続保障 12. 社会権 13. 統治機構 14. 平和主義 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……『憲法』芦部信喜著、岩波書店		
評 価 の 方 法	出席、ミニテストおよび期末試験による総合評価		

科 目	児童文学	講 師	川北 亮司
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> *ことばについての理解を深める。 *絵本や童話の読み聞かせを学ぶ。 *幼児・幼年向けの作品を知る。 *手づくり絵本を制作する。 *子どもの遊び歌を覚える。 *紙芝居の演じ方を学ぶ。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容の説明 2. 保育とは 3. ことばで遊ぶ 4. 赤ちゃん絵本 5. 幼児の絵本(1) 6. 幼児の絵本(2) 7. 手づくり絵本を制作(1) 8. 紙芝居の演じ方 9. 民話に親しむ 10. 絵本の読み聞かせ(1) 11. 手づくり絵本を制作(2) 12. 絵本の読み聞かせ(2) 13. 子どもの遊び歌 14. 手づくり絵本を制作(3) 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし（プリント配布など） 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	総合評価		

科 目	情報機器の操作	講 師	酒井 澄
授業目標	<p>幼児教育者が持つべき情報の基礎知識を得る。 情報機器を使う教育の利点と問題点を知る。 基礎的な情報機器の活用法を学び考える。 教育現場でも作成可能なコンピュータによる「動くオリジナルストーリー映像」を作り、これを指導できる能力や創作力を養う。これらを、受け身ではなく自発的に協力し合いながら行う。</p>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. ●基礎情報学①（プリント使用） 2. ●基礎情報学②（プリント使用） 3. ●基礎情報学③（プリント使用） 4. *「動くオリジナルストーリー映像」のサンプルを見る。*市販のゲームを体験する。 5. ●基礎情報学④（プリント使用） 6. *教育現場での撮影の仕方を学ぶ。★試験1（設題2）資料持ち込み不可。 7. ■動画制作① 8. ■動画制作② 班ごとに物語を考え発表、一番支持を得た物語の映像制作をする。 9. ■動画制作③ 作業分担制作開始(作業は、脚本・絵コンテ・色指定・キャラクター 10. ■動画制作④ 作画・色塗り・背景作画・色塗り・撮影・スキャン・キャラの切り 11. ■動画制作⑤ 抜き・アフレコ台本作り・録音・音楽効果音作り・編集などの作業 12. ■動画制作⑥ を分担し、協力し合い効率よく完成させる。) 13. ■動画制作⑦ 14. ★試験2（設題1）資料持ち込み不可 ■動画制作⑦ 答案を書き終えた学生は映像作り 15. ■動画制作⑧ 完成試写 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『インターネットの光と影ver.5』（希望者のみ購入） 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	教科の理解度、受講態度を評価するが、映像制作時の協調性・積極性にも重点を置く。 欠席、遅刻も評価対象となる。		

科 目	相談援助	講 師	古野 愛子
授業目標	<p>保育者が育児やさまざまな生活課題に悩む家族からの相談に対応して、ソーシャルワークの知識と技術の基本を学んで、保育所、障がい児施設、児童養護施設の事例を通して実践的に学習することを目標とする。子どもの問題が複雑・多様化する中で、このような事情を理解し、子育て家庭を支える保育者は、一人ひとりの幸せを目指して働いており、その具体的な支援をするためには、専門知識と技術が必要不可欠であることを理解する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談援助の基本 2. 相談援助の意義 3. 相談援助の機能 4. 保育とソーシャルワーク 5. 相談援助の対象 6. 相談援助の過程 7. 相談援助の技術とアプローチ 8. 相談援助における計画・記録・評価 9. 相談援助における関係機関・専門職との連携 10. 相談援助における社会資源の活用・調整・開発 11. 相談援助の事例Ⅰ—保育所— 12. 相談援助の事例Ⅱ—児童養護施設— 13. 相談援助の事例Ⅲ—福祉型障害児入所施設— 14. 相談援助の事例Ⅳ—母子生活支援施設— 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『児童家庭福祉の相談援助』建帛社</p> <p>参考書……『社会福祉の基本と課題』頸草書房</p>		
評 価 の 方 法	試験・受講態度・出席状況による総合評価		

科 目	保育者論	講 師	中西 和子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の役割と倫理について理解する ・保育者の制度的な位置づけを理解する ・保育者の専門性について考察し、理解する ・保育者の協働について理解する ・保育者の専門職的成長について理解する 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 保育者の制度的位置づけ 3. 保育者の役割と倫理 4. 保育者の専門性(1) 養護と教育 5. 保育者の専門性(2) 資質・能力・知識・技術・判断（グループワーク） 6. 保育者の専門性(3) 保育課程による保育の展開・省察・自己評価 7. 保育者の専門性(4) 保育実践（作って遊ぶ） 8. 先人の保育者論 9. 保育者の協働(1) コミュニケーションゲーム 10. 保育者の協働(2) 保護者支援（ロールプレー） 11. 保育者の協働(3) 子育て支援調査（ポスター発表） 12. 保育者の協働(4) 専門機関・家庭的保育者等との連携 13. 保育者の専門職的成長(1) 保育者としての課題研究 14. 保育者の専門職的成長(2) 保育者としての課題研究発表準備（パワーポイント） 15. 保育者の専門職的成長(3) 保育者としての課題研究発表 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『保育所保育指針解説書』</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、レポート、発表、テスト等による総合評価		

科目	家庭支援論	講師	前川 洋子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士が家庭支援を担う意義と役割について理解する。 ・現代の子育て家庭について理解する。 ・支援の必要な家庭を理解し、その支援を考える。 ・児童福祉施設における家庭支援について理解する。 ・家庭支援に関わる関係機関を知り、保育士の関わり方を考える。 		
授業の 計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭の意義と機能 家庭支援の必要性 2. 子どもが育つ場としての家庭 3. 家族形態の変遷 4. 現代の家族における保育者の視点 5. 現代の地域社会の変容と家庭 6. 男女共同参画社会とワークライフバランス 7. 子育て家庭の福祉を因るための社会資源 8. 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 9. 多様な子育て支援サービス 10. 保育所入所児童の家庭への支援 11. 地域の子育て家庭への支援 12. 要保護児童の子育て家庭への支援 13. 子育て支援における関係機関との連携 14. 多文化共生の家庭支援 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『実践 家庭支援論』松本園子（編）、ななみ書房</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評価の 方法	出席、受講態度、レポート、試験による総合評価		

科目	保育内容演習・健康	講師	担当講師
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の発達について、知識を得、健康に関する理解を深める。 ・自分が常に保育の現場に立った時を想定し、健康とは何かを理解し実践力を身につける。 ・保育者として実践的アイデア・工夫を生み出す、基礎を作る。 ・幼児自身に安全に対する意識を形成するための指導法を学び考える。 		
授業の 計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 子どもの健康について 3. 領域「健康」のねらいとは 4. 領域「健康」の内容とは① 5. " ② 6. 他の領域との関係 7. 子どもの遊びとは 8. 子どもの心身の発達について① 9. " ② 10. 子どもの安全・健康に対する管理と教育 11. 基本的生活習慣(1) 12. " (2) 13. " (3) 14. 子どもの遊びの大切さと保育者の子どもとの関わり 15. 試験 <p style="text-align: right;">※内容は授業の進み具合によって変更することもあります。</p>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……未定</p> <p>参考書……授業時にその都度、紹介します</p>		
評価の 方法	出席状況、受講態度、レポート、発表、テスト等による総合評価		

科 目	保育内容演習・人間関係	講 師	今泉 良一
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「人間関係」のねらいと内容を理解し、その「ねらい」を達成するための保育者の具体的な援助について学ぶ。 ・乳幼児期の自己の発達、他者との関係の発達を理解する。 ・様々な事例を考察し、子どもの心に寄り添う保育者としての役割等について理解する。 ・保育を取り巻く人間関係（保護者との人間関係、保育者同士の人間関係、小学校との連携）について理解を深める。 ※実践的授業を目指しますので、積極的に取り組んで下さい。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（講義の概要とねらい） 2. 領域「人間関係」の基礎知識 3. 人とのかかわりを培う保育の基本 4. コミュニケーションゲーム① 5. 乳幼児期の発達段階① 6. 乳幼児期の発達段階② 7. 育ちに応じたかかわりと援助① 8. 育ちに応じたかかわりと援助② 9. 育ちに応じたかかわりと援助③ 10. 気になる子どもの人間関係づくりと援助① 11. 気になる子どもの人間関係づくりと援助② 12. コミュニケーションゲーム② 13. 保護者との関係づくりと地域との連携 14. 職場の人間関係・保育者同士の人間関係 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『事例と図解で学ぶ保育実践 子どもの心の育ちと人間関係』保育出版社 参考書 ……『0歳～6歳 子どもの社会性の発達と保育の本』学研		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、発表、試験等による総合評価		

科 目	保育内容演習・環境	講 師	今泉 良一
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「環境」のねらいと内容を理解し、その「ねらい」を達成するための保育者の具体的な援助について学ぶ。 ・「環境を通して行う保育」、「遊びを通しての総合的な指導」の在り方について考察し、環境構成を支える知識や技術を習得する。 ・様々な事例を考察し、子どもの主体性を引き出す環境構成の工夫や保育者としての役割等について理解する。 ・指導計画の必要性や作成手順等について理解する。 ※実践的授業を目指しますので、積極的に取り組んで下さい。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（講義の概要とねらい） 2. 領域「環境」の基礎知識 3. 子どもの育ちと領域「環境」 4. 子どもを取り巻く人的環境① 5. 子どもを取り巻く人的環境② 6. 子どもを取り巻く物的環境① 7. 子どもを取り巻く物的環境② 8. 子どもを取り巻く社会的環境 9. 子どもを取り巻く自然環境 10. 子どもの生きる力を育む環境 11. 子どもを守り育てる環境 12. 気になる子どもと環境 13. 手作り玩具を作ろう！～教材研究と指導計画作成～ 14. 環境を通じた保育の今日的課題 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育内容「環境」あなたならどうしますか？』萌文書林 参考書 ……『事例で学ぶ保育内容〈領域〉環境』萌文書林		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、発表、試験等による総合評価		

科 目	保育内容演習・言葉	講 師	片野 枝美子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の獲得に関する領域「言葉」において目指されている事項を理解する。 ・コミュニケーションの手段である言葉の発達を知る。 ・領域「言葉」のねらいをどのように達成していくか、具体的に学習する。 ・実技演習、教材作製を通じ、保育技術を学ぶ。 ・考えや思いをまとめ、言葉で伝える力を高める。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業のねらい及び内容 2. 言葉の発達の姿の理解(1) 資料研究 3. 言葉の発達の姿の理解(2) 観察記録研究 4. 言葉の発達上の問題 5. 言葉を豊かにする保育内容 6. グループワークによる保育内容研究(1) 手遊び・素話 7. グループワークによる保育演習 8. グループワークによる保育内容研究(2) 絵本・紙芝居 9. グループワークによる保育演習 10. 保育実技演習(1) 11. 保育実技演習(2) 12. 教材作製(1) 13. 教材作製(2) 14. まとめ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 授業内で配布したプリントはまとめておく 参考書 ……『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育保育要領』		
評 価 の 方 法	出席、授業態度を重視し、提出プリント、試験等による総合評価		

科 目	保育内容演習・表現	講 師	二木 秀幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の研究を軸に、子どもの表現の育ちと保育者の役割について学ぶ。 ・さまざまな実践課題を通して、必要な資質の基盤を養う。 ・あそびの中から表現する術を理解できる。 ・子どもの表現活動に対する指導方法を身につける。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 授業内容とポイントの解説 2. 子どものうた(1) いろいろな歌をうたう・手あそび・歌あそび 3. 子どものうた(2) 保育における歌を考える・子どもに歌を教えるには 4. 子どものうた(3) まとめ 5. 様々な素材を使った表現(1) 創作ダンス1 6. 様々な素材を使った表現(2) 創作ダンス2 7. 様々な素材を使った表現(3) “詩”であそぶ1 8. 様々な素材を使った表現(4) “詩”であそぶ2 9. 様々な素材を使った表現(5) “絵本”であそぶ1 10. 様々な素材を使った表現(6) “絵本”であそぶ2 11. まとめ・“あそび”“表現”“ドラマ・シアター”を考える 12. グループワーク(1) 小グループで、様々な表現を織り交ぜた創作を行う1 13. グループワーク(2) 小グループで、様々な表現を織り交ぜた創作を行う2 14. グループワーク(3) 小グループで、様々な表現を織り交ぜた創作を行う3 15. 発表会・まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『5訂版 歌はともだち(歌集)』教育芸術社 参考資料 …『改訂 ポケットいっぱいのおうた』『実践 子どものうた』『簡単に弾ける144選』教育芸術社		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、レポート及びグループ発表等による総合評価		

科 目	障害児保育	講 師	恵良 具子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害児保育を支える理念と障害児保育の基本について理解を深める。 ・ 多様な障害の中から保育園で対応が求められている発達障害及び精神発達遅滞について重点的に学ぶ ・ 障害を疑われる子どもが求めている成長上の必要性（ニーズ）を探る力を培う ・ 事例を用いたグループ学習を通して他者の考えや意見を理解し、自分の考えをまとめ表現する力を養う 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害の捉え方と障害児保育の理念 2. 自閉症の症状の基本的知識と理解 3. 自閉症児の状態像とその理解 4. 自閉症児の発達の様相 5. 自閉症児への支援とその留意点 6. 自閉症児の事例検討 7. ADHDの症状の基本的知識と理解 8. ADHD児の具体的支援と保育の要点 9. ADHD児の事例検討 10. 感覚の異常の状態像と理解 11. 感覚統合をすすめる遊び 12. 精神発達遅滞（知的障害）の定義と特徴 13. 精神発達遅滞児への支援と保育の要点 14. 精神発達遅滞児の事例検討 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『障害児保育…子どもとともに成長する保育者を目指して…』萌文書林 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業への参加度、レポート・試験による総合評価		

科 目	保育相談支援	講 師	坂本 秀子
授業目標	<p>保育所や幼稚園や地域の育児支援の現場で子どもと家族を応援しようとする時に、今よりほんの少しでも視野が広がり、気持ちが楽になるのに役立つかも知れない知識や見方について、一緒に学びたい。来談者（相談にいらっしやる方たち）に「相談してよかった」と思ってもらえるような面談・話し合いを行うための手立てや工夫は、自身の視野を広げることや自分の持ち味をいかした関わり方を育てていくことと繋がっている。保護者や保育者とやりとりし試行錯誤する過程で得たヒントを伝えていきたい。</p>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所保育指針と家庭支援の考え方—保育所の役割 2. “ ” — 家庭支援の基本 3. “ ” — 保育所での支援内容 4. 保育所での支援の方法—家庭とのパートナーシップ 5. “ ” — 保護者と一緒に考える 6. “ ” — 困難な課題に向きあう ① 7. “ ” “ ” ② 8. 相談援助の基礎—コミュニケーションスキルについて 9. “ ” — 面接技術の基本 10. “ ” — グループワークあるいは「自分を知る」 11. “ ” — 親子の関係を支援する工夫 12. 事例を通して、より良い展開へのヒントを学ぶ 事例 1 13. “ ” 事例 2 14. “ ” 事例 3 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育所における家庭支援』全国社会福祉協議会 参考書 ……特になし		
評 価 の 方 法	試験・受講態度・出席状況による総合評価		

科 目	保育実践演習	講 師	富金原 光秀
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実践における現代の問題意識を持ち、解決に至る為の方法について調査及び研究発表を行う。具体的な課題に対して複眼的に思考し意欲を持って取り組む態度を養う。 ・ 個別指導を交えながら、主題の設定、資料・情報の収集、論点整理、中間報告、口頭発表について順次行う。 ・ 議論や討論を重ねて、他者を尊重するとともに論理的思考力を身につける。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育を取り巻く現状認識と問題関心の理解 2. 主題の設定 ～テーマを絞り込む～ 3. 情報及び資料の収集と整理 4. 調査研究・情報の分析 5. 中間報告に向けての個別指導 6. 自己課題についてのブレインストーミング 7. 中間報告及びディスカッション① 8. 中間報告及びディスカッション② 9. 中間発表の点検、評価、改善 10. 論点整理と情報、資料の再収集 11. 研究発表の為の個別指導① 12. 研究発表の為の個別指導② 13. 発表及びディスカッション① 14. 発表及びディスカッション② 15. まとめ 		
教科書及び参考書	教科書 ……特に指定なし 授業中に適宜資料を配布 参考書 ……特に指定なし		
評価の方法	出席状況、受講態度、発表の際の表現力、論理的思考力、提出物		

科 目	教育史	講 師	安部 高太郎
授業目標	<p>授業のなかで得た教育（思想）史的な知見をもとに、保育・教育の事象について自分なりに考えを深め、それを表現する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 導入：「教育（思想）史」を学ぶ意義って例えばどんなことか？ 2. コメニウスの『世界図絵』：子どもに〈この世界〉を示すには？ 3. 福沢諭吉の『学問のすゝめ』と我が国の近代学校教育制度：明治期の「学校」教育の理念とは何だったのか？ 4. ルソーの『エミール』：人間の手にかかると人間は悪く育ってしまう!? 5. グループ発表に向けて：グループ分け及び発表テーマ決め・詳細説明・諸注意など【*必ず出席してほしい】 6. フレーベルの教育思想と我が国への影響：「幼稚園」のはじまりについて 7. 【グループごと】グループ発表準備①：発表に向けての資料収集 8. 【グループごと】グループ発表準備②：資料収集及び整理 9. グループ発表進捗状況確認とアドバイス①：発表資料作り 10. グループ発表進捗状況確認とアドバイス②：発表資料完成 11. デューイの教育思想と大正新教育への影響：子どもの興味・関心を活かす教育は実現できるか？ 12. グループ発表① 13. グループ発表② 14. グループ発表③ 15. まとめに代えて：再び「教育（思想）史」が活きる瞬間は本当にあるのか？（もし、あるとすれば…） 		
教科書及び参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……今井康雄 編（2009）『教育思想史』有斐閣（有斐閣アルマ）。その他、適宜、授業で提示する。		
評価の方法	原則として、授業への参加状況ならびに小レポート、さらにグループ発表などから総合的に評価する。なお、詳細は初回の授業にて説明する。		

科 目	保育臨床心理学	講 師	浅野 路子
授業目標	1. 自分の「こころ」に触れる体験を通して、自分自身を知り、自分と向き合う。 2. 他者の「こころ」に触れる体験を通して、自己理解、他者理解への考察を深める。 3. 子ども達の心の世界について学び、知る。 4. 子ども達の心の現れ方を学び、子どもを適切に理解する力を身につける。 5. 他者とこころの交流をしっかりと積み重ねていかれるような感性を磨く。		
授 業 の 画 計	1. オリエンテーション 2. 「こころ」に触れてみよう(1) 3. 「こころ」に触れてみよう(2) 4. 「こころ」に触れてみよう(3) 5. 臨床心理学とは(1) 6. 臨床心理学とは(2) 7. 知能の理解 8. 性格の理解 9. 知能検査の体験 10. 性格検査の体験 11. 事例研究(1) 12. 事例研究(2) 13. 事例研究(3) 14. 事例研究(4) 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書 ……使用しない 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、授業やレポートへの取り組み姿勢を総合して評価する		

科 目	子どもの食と栄養実習	講 師	深川 卯子
授業目標	1. 食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会のかかわりの中で理解する。 2. 食品と栄養との関係を献立作成を行うことで理解する。 3. 実習を通して調理と幼児の食に対して理解を深める。 4. 小児の成長過程と離乳食、幼児食を実際に作って理解する。 5. 食事と生育、食育の実際の進め方など実行できるように学ぶ。		
授 業 の 画 計	1. 幼児期の栄養と保育所の食事の役割 2. 保育所の食事基準・目標・食育のめざすもの 3. 調乳の実際と注意点(実習室) 4. 離乳食の献立で栄養計算をする 5. 幼児食の献立から離乳食への展開(実習1) 6. 幼児食の献立を作成する 7. 栄養計算などを通して献立の評価をしてみる 8. 作成した献立を実際に作る(実習2) 9. 幼児のおやつ(軽食)について・クッキング保育を想定して計画書作成 10. 計画書に基づいておやつを作る(実習3) 11. 作成した計画書と作ったものについて班ごとに発表する 12. お弁当の献立を作る(栄養計算も) 13. お弁当を作る(実習4) 14. まとめ、現在の食生活の問題点(実習から学んだことを含む) 15. テスト		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育所の食事を通して食育を』学建書院(1年次に購入していなくてもよいです。必要に応じたプリントを渡します)、『初めての食品成分表』女子栄養大学出版社 参考書 ……1年次使用の教科書→『発育期の食生活と栄養』		
評 価 の 方 法	出席、実習時の提出物、テストによる総合評価		

科 目	絵画造形技法	講 師	宮地 明子
授業目標	<p>造形I・IIで学んだ基礎力を応用し、更に多種多様な画材を用いて課題制作を行い、造形表現の理解を深める。幼児期の絵画技法の特徴を実践を通して理解し、遊びのなかの造形を体験する。また自らの絵画表現における造形感、そして理解力、技術力、応用力をより養う。また将来の現場指導で実践可能な制作を行い、自信を持って実習に向かえるように準備する。 *制作の進行状況を考慮し順序や内容を適宜変更する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前提講義。造形表現の意義と特徴。絵画制作のウォーミングアップ。 2. 絵画技法を応用した工作。幼児の造形活動の特徴を理解する。 3. 基本図形の応用。基本形態による工作。保育造形の指導のポイント。 4. 色の復習(色相環、色相、明度、彩度、反対色、近似色)色彩効果を活用した絵画制作。 5. はり絵で虹の絵を描く。基本的な保育画材の種別と特徴を知り活用方法を研究する。 6. 絵画と工作の発達段階の復習。動物を作る。幼児造形の疑似体験を行い理解を深める。 7. 幼児画の特徴の復習1。物語を聞き絵本や紙芝居の一場面を作る。 8. 幼児画の特徴の復習2。描画材や素材の可能性を探り応用表現に挑戦する。 9. モダンテクニックの応用。保育画材を使用し幼児の発達過程に応じた造形指導を学ぶ。 10. 遊べるおもちゃの制作1: グループワーク。内容を相談・検討し、必要材料や制作プランを立てる。 11. 遊べるおもちゃの制作2: 役割分担し協力して制作する。 12. 遊べるおもちゃの制作3: 作品を仕上げる。 13. 遊べるおもちゃの制作4: 模造紙に飾り付けを行い完成。グループ発表をし壁画展示を行う。 14. これまでの制作内容を一冊のノートにまとめ製本する。 15. まとめ、ノート提出 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評価の 方法	<p>授業態度を重視。必要な用具・材料の準備、授業内での作品の提出及び完成度、学習意欲、制作に対する真摯な姿勢、適切な片付け、まとめノートの提出、遅刻早退出席数による総合的評価</p>		

科 目	保育表現技術・幼児体育Ⅱ	講 師	松森 照幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児体育Iで学んだ内容を基本として、更に実践的スキルを身につける。 ・ 運動遊具の使用方法を学ぶ。 ・ 基本的な運動のしくみ、意味を理解し、実践につながる方法を学ぶ。 ・ 運動会に向けての企画案をグループワークで提案する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児体育とは何か(ふれあい遊び、まねっこ遊び) 2. かけっこ①歩く走るとは②リレー(団体競技の指導上の留意点)、組体操 3. 組体操あそび 段ボール、フープ遊び 4. ボールあそび 小さいボール 大きいボール 5. パラバルーン 6. 体を使った運動あそび(ジャンケン遊び) 7. 技巧台を使った運動あそび、ビニールサッカー 8. ごっこ遊び色々 9. リズム・ダンスあそび、スズランテープ、新聞紙あそび 10. 運動会に向けての企画づくり(その①) 11. 〃 (その②) 12. 〃 (その③) 13. 〃 (その④) 14. 〃 (その⑤) 15. 企画についてのプレゼンテーション ※内容は授業の進み具合によって変更することもあります。 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『ハッピー運動会 楽しさいっぱい種目集』チャイルド本社</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評価の 方法	<p>出席状況、受講態度、レポート、ミニテスト、企画発表etcで総合評価</p>		

科 目	保育表現技術・ピアノⅡ	講 師	浦 啓子・佐藤 季里 杉浦 千里・前原 貴子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノⅠに引き続き、ピアノの基礎表現技術を学んでいく。 ・現場で使える生活の歌や童謡の弾き歌いレパートリーを増やしていく。 ・日々の自己練習を積み重ねることで、個人レッスンで音楽表現の楽しさや共有する喜びを体験する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個人レッスン：大譜表、へ音記号の復習 3. 〃 ：跳躍するメロディーの指の使い方（指替え、指広げ等） 4. 〃 ：ハ長調の音階練習 5. 〃 ：3連符と16分音符 6. 〃 ：イ短調の音階 7. 〃 ：ト長調の音階と曲 8. 〃 ：ト長調の童謡 9. 〃 ：ニ長調の音階と曲 10. 〃 ：ニ長調の童謡 11. 〃 ：へ長調の音階と曲 12. 〃 ：へ長調の童謡 13. 〃 ：生活の歌 14. 〃 ：実技試験の曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……1年次で購入した教本、『こどものうた100』チャイルド本社 参考書 ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノⅢ	講 師	国友 真知子・福田 由子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの基礎演奏技術を学ぶ（バイエル96番程度）。 ・童謡を楽しく弾き歌いできるようになる。 ・実習に向けて、生活の歌や童謡のレパートリーを増やす。 ・ピアノ練習を毎日の生活の中で確保できるよう努力する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：各自のレベルの把握と課題の決定 2. 個人レッスン 3. 〃 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 ：実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……1年次に購入したもの 参考書 ……『始めよう！弾き歌い』及び担当講師の指定するもの		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験等による総合評価		

科目	保育表現技術・声楽	講師	木下 裕子						
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数々の子どもの歌を通して、歌う事の楽しさを自ら体験出来るよう練習します。 ・正しい呼吸法、発声法を身につけていきます。 ・音程、リズムのとり方を学んでいきます。 ・ハーモニーの体験から、同時に響く相手の声を聞く感覚を養います。 ・歌唱指導法を学んでいきます。 								
授業の計画	<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top; border: none;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歌の為の易しい 2. ストレッチと呼吸法 3. ヴォイストレーニング 4. ↓ 5. ↓ 6. ↓ 7. ↓ 8. ↓ 9. ↓ 10. ↓ 11. ↓ 12. ↓ 13. ↓ 14. ↓ 15. ↓ </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top; border: none; text-align: center;"> ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ </td> <td style="width: 34%; vertical-align: top; border: none;"> ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ </td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none; text-align: center;"> ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ </td> <td style="border: none;"> ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌の為の易しい 2. ストレッチと呼吸法 3. ヴォイストレーニング 4. ↓ 5. ↓ 6. ↓ 7. ↓ 8. ↓ 9. ↓ 10. ↓ 11. ↓ 12. ↓ 13. ↓ 14. ↓ 15. ↓ 	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓		↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌の為の易しい 2. ストレッチと呼吸法 3. ヴォイストレーニング 4. ↓ 5. ↓ 6. ↓ 7. ↓ 8. ↓ 9. ↓ 10. ↓ 11. ↓ 12. ↓ 13. ↓ 14. ↓ 15. ↓ 	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓							
	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓							
教科書及び参考書	<p>教科書……『ポケットいっぱいのおうた』教育芸術社</p> <p>参考書……特に指定なし</p>								
評価の方法	実技試験と受講態度、出席による総合評価								

科目	保育実習指導Ⅱ	講師	渡邊 眞理
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次で経験した保育実習、施設実習の振り返りと反省をし、次回への課題をみいだす。 ・ 2年次の保育実習に向け、指導計画、保育技術の見直し、向上に1人1人問題意識、目的意識を持ち意欲的に学び実践につなぐ。 ・ 実習で記載したノートの分析と記入を今一度、考察し実践につなぐ。 ・ 責任実習での指導案の立案、保育者と子どもの適切なかわりなど、発達やあそびをグループワークにとり入れながら学ぶ。 		
授業の計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 保育実習1回目の振り返り① 3. " ② 4. 実習マナーと身だしなみ、一般常識の振り返り 5. 責任実習とは…… 6. " ①目標と課題テーマ 7. " ②部分実習 8. " ③指導案（日案） 9. " ④ " 10. " ⑤ 11. " ⑥ 12. " ⑦ 13. " ⑧ 14. " ⑨ 15. " ⑩まとめ <p style="margin-left: 40px;">} 責任実習の実際</p>		
教科書及び参考書	<p>教科書……『保育所保育指針』</p> <p>参考書……『幼稚園・保育園実習まるわかりガイド』ナツメ社</p>		
評価の方法	平常点、提出物、実技発表などの総合評価		

科 目	保育実習指導Ⅲ	講 師	古野 愛子・渡邊 眞理
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次で経験した保育所実習、施設実習の振り返りと反省をし、次回の実習に向け課題を明確にする。 ・ 保育所実習、施設実習で記録した日誌の分析と記入について再度考察し実践につなぐ。 ・ 2年次の施設実習に向け個別支援計画、指導計画の立案、保育技術、保育知識の見直し、向上に一人ひとり問題意識を持ち意欲的に学び実践につなぐ。 ・ 施設における保育者の役割、さらには保育者の専門性について課題を明確にして実習に臨む。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、授業の進め方 2. 保育所実習・施設実習の振り返り① 3. 保育所実習・施設実習の振り返り② 4. 保育所実習・施設実習から見えた課題の明確化① 5. 保育所実習・施設実習から見えた課題の明確化② 6. 実習日誌の分析 7. 実習日誌の書き方 8. 施設実習に向けての観察の視点を明確にする 9. 施設実習における保育者の専門性を考える 10. 個別支援計画と指導計画の作成 11. 個人票の作成① 12. 個人票の作成② 13. 実習課題の作成① 14. 実習課題の作成② 15. 実習に向けてのまとめ、直前指導 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……授業時に適宜プリントを配布 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	平常点、授業態度、提出物、実技発表などの総合評価		

科 目	キャリアデザイン	講 師	井守 知義
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職活動に向けて、基本的なスキルを身に着ける ・ これまでの学びと実習経験から就職先（保育所、施設等）の絞り込みをする ・ 公務員試験対策を万全にする 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進路指導のガイダンス。作文「学校生活を振り返って」 2. 自己PRについて。キャリアカードの更新。就職希望調査。 3. 就職ガイダンス①（就職に向けて、キャリアデザインセンターの利活用、ビジネスマナー等） 4. 就職ガイダンス②（公共機関の利活用、就職フェアについて、求人票の見方等） 5. キャリアモデルから学ぶ（卒業生を招いての懇談会） 6. 人事採用担当者から学ぶ企業研究① 7. 人事採用担当者から学ぶ企業研究② 8. 人事採用担当者から学ぶ企業研究③ 9. 面接試験に向けての心構え（入退出、自己紹介、服装、面接等） 10. 自己アピールワークシート作成 11. 模擬面接① 12. 模擬面接② 13. 模擬面接③ 14. 模擬面接④ 15. 模擬面接⑤ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席率、提出物、受講態度により評価します		

科 目	クラスルームⅡ	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションや学校からの連絡事項の伝達、クラス全体での相談、必要に応じて通常授業の補完授業を行う。また個別面談（学生生活や受講状況について）を行う。 ・クラス活動を通して、保育者に必要とされる協調性や責任感、コミュニケーション能力や主体性、自主性を養う。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：学生便覧の重要事項確認。 2. 個別面談：ひとり10～15分程度。基本的に名簿順に。クラス活動も並行して行う。 3. 〃 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 15. 〃 		
教 科 書 及 び 参 考 書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	出席状況、学校生活態度を総合的に評価する		